

衆議院文部科学委員会ニュース

【第 221 回国会】令和 8 年 5 月 20 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

・松本文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）石田真敏君（自民）、菊田真紀子君（中道）、山崎正恭君（中道）、犬飼明佳君（中道）、喜多義典君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

石田真敏君（自民）

- (1) 北越高等学校の部活動遠征中のバス事故によって顕在化した課題に対する文部科学省の対処
- (2) 科学技術・学術政策研究所の第 12 回科学技術予測調査の結果において示された、将来の社会に大きな影響を与える科学技術
- (3) 教育制度改革について
 - ア 学校の適正規模及び適正配置に係る指針の必要性
 - イ 長期休暇を見直すためのグランドデザインの策定を検討すべきとの意見に対する文部科学省の見解
- (4) 大学の在り方の見直しについて
 - ア AI 時代に求められる能力を備えた優秀な教員確保の観点から、教育の専門大学を中心とする教員養成に向けたシステム改革を行う必要性
 - イ 日野原重明氏が提唱したアメリカのメディカルスクール構想について検討する必要性
 - ウ 首都圏の大災害に備えるとともに地方創生に資する観点から、東京にある国立大学の学生・教員数の削減及び首都圏の大学の地方移転を積極的に進めるべきとの意見に対する文部科学省の見解
- (5) AI 時代における職業の変化とそれに対応する教育制度についての文部科学省の見解

菊田真紀子君（中道）

北越高等学校の部活動遠征中のバス事故について

- ア 事故に対する松本文部科学大臣の受け止め
- イ 部活動遠征時の安全管理について、通知においてより具体的な内容を示してこなかった理由
- ウ 今回の事故を受けて設置された学校活動安全確保対策推進本部の位置付け、設置における問題意識及び今後の検討スケジュール
- エ 昨 19 日に発出された部活動の遠征時における安全確保に関する通知について
 - a 発出するだけでなく、現場へ浸透させ実効性を確保する方法
 - b 同通知で示された教職員等の配置に加え、県外への遠征等の際の引率体制や生徒が乗車している車両への大人の同乗の在り方について、更に具体的な考え方を示す方針の有無
- オ 地域クラブ活動における移動時の安全管理体制や責任の所在についての松本文部科学大臣及びスポーツ庁の見解
- カ 部活動遠征時の安全確保に対する財政的支援を検討する必要性
- キ 文部科学省として学校法人に対する直接の確認や調査を行う考えの有無

山崎正恭君（中道）

- (1) 部活動の地域展開について
 - ア 政治的判断で期限や範囲を決めて計画的に進める方が、子供たちがスポーツや文化活動を行う機

- 会の確保や教員の働き方改革につながるとの意見に対する文部科学省の認識
- イ 認定地域クラブ活動における移動費等の子供の負担に係る文部科学省の整理及び認識
- ウ 部活動でバス移動する場合に教員が同乗することを「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」に絶対条件として位置付けるべきとの意見に対する松本文部科学大臣の所見
- エ 認定地域クラブ以外の地域クラブについて、体罰や性暴力の防止等を含む子供の安全確保を図るため、認定地域クラブ以上に同ガイドライン等の厳格な運用を徹底する必要性
- (2) N-E. X. T. (ネクスト) ハイスクール構想について
 - ア 「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」の拠点の採択に当たって力点を置く観点
 - イ 本構想と軌を一にする経済産業省の『未来の教室』実証事業に係る文部科学省と経済産業省の連携状況及び今後の連携の進め方
 - ウ 地域や企業等の多様なプレーヤーが子供たちの多様な学びを担う仕組みにすることにより、新たな学びの創出に加え教員の働き方改革にもつながるとの意見に対する松本文部科学大臣の認識
- (3) 国立大学法人運営費交付金の抜本的な増額の必要性についての文部科学省の認識及び今後の取組

犬飼明佳君（中道）

愛知・名古屋アジア競技大会及び愛知・名古屋アジアパラ競技大会について

- ア 両大会が我が国で開催されることの意義及び我が国のスポーツの発展に与える効果
- イ 全国的な認知が十分でない状況を踏まえた、両大会に向けた機運醸成のための国の取組
- ウ アジアパラ競技大会を活用した障害者スポーツの全国的な機運醸成及び共生社会の実現に向けた取組
- エ 安全・安心に両大会を実現するための望ましい警備の在り方
- オ スポーツ外交の舞台ともなる両大会のセキュリティの確保を国が前面に立って支える必要性
- カ 両大会に係る経費として令和7年度補正予算に計上された136億円のうち、警備費相当分約30億円に、現下の中東情勢の緊迫化等への対応分は含まれていないことの確認
- キ 不測の事態に対応した警備強化も可能となるよう予備費を要求すべきとの意見に対する松本文部科学大臣の見解
- ク 地方創生の観点から見た両大会を地方で開催することの意義及びその活用方策
- ケ 昨年、東京で開催された世界陸上及びデフリンピックに引き継がれた東京2020大会のレガシー
- コ 地方創生及び我が国のスポーツ界の発展の観点から見た両大会のレガシーの見通し並びに今後の国際スポーツ大会への活用方策

喜多義典君（維新）

- (1) 同志社国際高等学校の研修旅行中に発生したボート転覆事故について
 - ア 文部科学省及び海上保安庁において把握している事実関係並びに文部科学省が実施した訪問調査を通じて新たに得られた知見と課題
 - イ 負傷した生徒とその保護者に対する支援の状況及び文部科学省が学校や関係機関に対して求めている対応
 - ウ 生徒の安全を確保しつつ研修旅行を継続していくための国の具体的な取組
- (2) 北越高等学校の部活動遠征中のバス事故について
 - ア 今回の事故を踏まえ、部活動の遠征における移動手段の確保や安全管理において求められる対応及び今回の事案を受けて明らかになった課題
 - イ 遠征の在り方や指導体制を含めた部活動の安全確保に向けた政府の対応方針

- (3) 障害のある児童生徒に対する合理的配慮について
 - ア 学校には合理的配慮の提供義務があること及び前例がないといった理由のみで義務を免れることができないこと等についてより一層の周知徹底を図る必要性
 - イ 教育委員会や教員が合理的配慮の提供義務を理解するために文部科学省が行った取組及び今後の方針
- (4) 紫外線対策の観点から、学校において制服の一部としてサングラスを着用することについての文部科学省の見解
- (5) 不登校児童生徒に対する多様な学びの確保のための支援及び学校復帰を希望する児童生徒に対する支援のバランス